



平成 22 年 12 月 8 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 A C C E S S
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 鎌 田 富 久
(コード番号 4813 東証マザーズ)
問 合 せ 先 社 長 室 長 須 田 昌 樹
(T E L . 0 4 3 - 2 1 2 - 2 2 3 2)

業績予想の修正、特別損失計上に関するお知らせ

平成 23 年 1 月期の業績予想を、下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。また、併せて特別損失の計上についてお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 連結 平成 23 年 1 月期 連結業績予想数値の修正 (平成 22 年 2 月 1 日～平成 23 年 1 月 31 日)

(単位: 百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益 (△損失)	1株当たり当期 純利益(△損失)(円)
前回発表予想(A)	30,843	2,833	3,040	1,069	2,729.25
今回発表予想(B)	25,000	3,600	3,500	△350	△893.12
増減額(B-A)	△5,843	766	459	△1,419	—
増減率(%)	△18.9%	27.0%	15.1%	—	—
(ご参考) 前期実績(平成 22 年 1 月期)	32,400	2,602	2,865	493	1,260.98

(2) 個別 平成 23 年 1 月期 個別業績予想数値の修正 (平成 22 年 2 月 1 日～平成 23 年 1 月 31 日)

(単位: 百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益 (△損失)	1株当たり当期 純利益(△損失)(円)
前回発表予想(A)	27,345	3,731	3,694	1,738	4,436.84
今回発表予想(B)	22,300	4,400	4,300	△2,100	△5,358.69
増減額(B-A)	△5,045	668	605	△3,838	—
増減率(%)	△18.5%	17.9%	16.4%	—	—
(ご参考) 前期実績(平成 22 年 1 月期)	29,605	3,052	3,272	△3,528	△9,007.41

2. 修正の理由

【連結】

前回発表時の見通しに比べ、売上高につきましては ACCESS Linux Platform(以下 ALP)関連の売上が減少するなどの理由により 5,843 百万円の減少となる見込みであります。

一方、売上原価並びに販管費につきましては、ALP の大規模な開発投資の終了に伴う人員削減など、コストコントロール強化の取組みによって、営業利益は 766 百万円、経常利益は 459 百万円それぞれ増加となる見込みであります。

また、特別損失の影響により、当期純利益は 1,419 百万円の減少となる見込みであります。

【個別】

前回発表時の見通しに比べ、上記と同様の理由により、売上高につきましては 5,045 百万円の減少となる見込みであります。営業利益は 668 百万円、経常利益は 605 百万円それぞれ増加となる見込みであります。

一方、特別損失の影響により、当期純利益は 3,838 百万円の減少となる見込みであります。

3. 特別損失の計上について

以下の内容を主因として、連結で特別損失 3,103 百万円、単体で特別損失 5,421 百万円を計上する予定です。

子会社株式の評価損により、単体で 3,178 百万円の関係会社株式評価損を計上する予定です。また、子会社の経営状態を勘案し、単体で貸倒引当金繰入額として 707 百万円を計上する予定です。

一方、連結におきましては ALP 開発の規模を更に削減し、適切なりソースによる開発活動を実施するために特別退職金 1,195 百万円を計上する予定です。

(1) 連結の特別損失の主な内訳（以下の金額につきましては、本日時点での見込みであります。）

① 特別退職金	1,195 百万円
② 開発中止損失	944 百万円
③ 事務所移転費用	443 百万円

(2) 単体の特別損失の主な内訳（以下の金額につきましては、本日時点での見込みであります。）

① 関係会社株式評価損	3,178 百万円
② 開発中止損失	944 百万円
③ 貸倒引当金繰入額	707 百万円
④ 事務所移転費用	443 百万円

(注)業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以上